

令和3年度（前半）

【学校評価アンケート結果について】

7月に実施いたしました学校評価アンケートの集計結果を、お知らせいたします。「1・2年児童」「3・4年児童」「5・6年児童」「保護者」「教職員」の結果をグラフで表しています。三者のアンケート結果から考察したことをお伝えし、今後の改善の指針とさせていただきたいと存じます。ご協力ありがとうございました。

<回答尺度>

よく出来ている

大体出来ている

あまり出来ていない

出来ていない

令和3年度 学校経営方針（一部抜粋）

学校教育目標

よりよく生きるために、自ら考え、行動する子どもを育てる
～「自ら学ぶ力」と「自ら律する力」を高めるために～

目指す子ども像

・進んで学習する子

・思いやりのある子

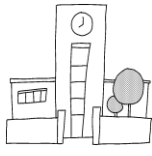
・仲間とつながる子

・心も体も元気な子



目指す学校像

子どもを育てるための具体的な取組のある学校
～取組のないところに、成果はない～
～特別な日のわたしより、いつものわたし～



今年度の重点

◎授業で子どもを育てる

○こどもの自主性、主体性、積極性を引き出す

○すべての教育活動と「目指す子ども像」の関連を明らかにする

○子どもの手本となる大人に（言動・生き方）

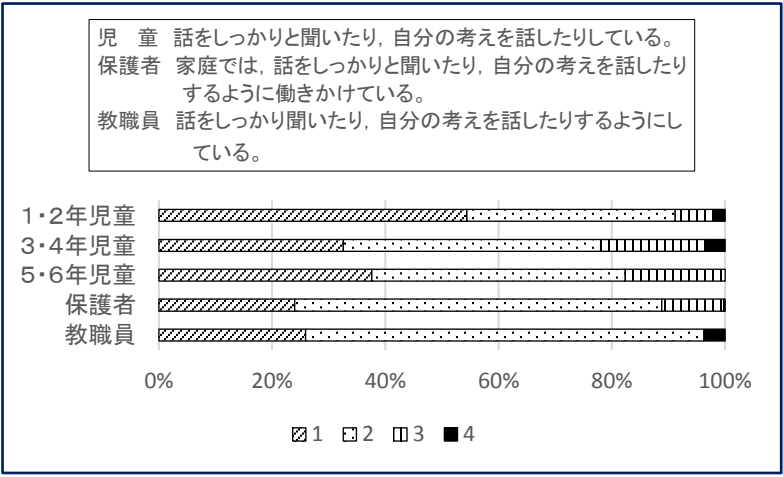
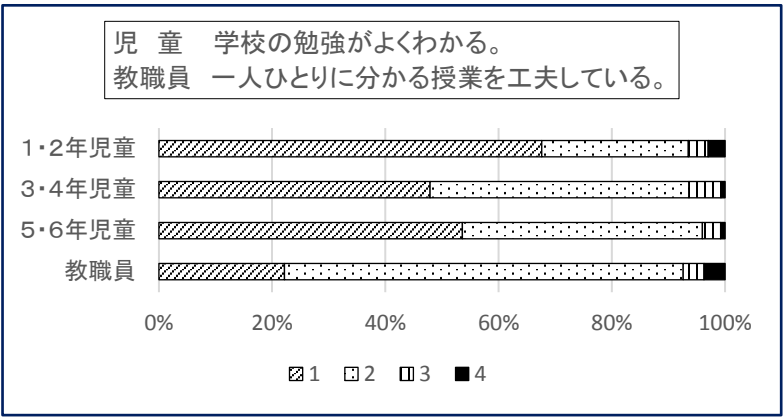
○規範意識を高める

○保護者・地域の願いや思いを十分に聴く

○保護者・地域との連携は、日々の情報発信から



1. 進んで学習する子

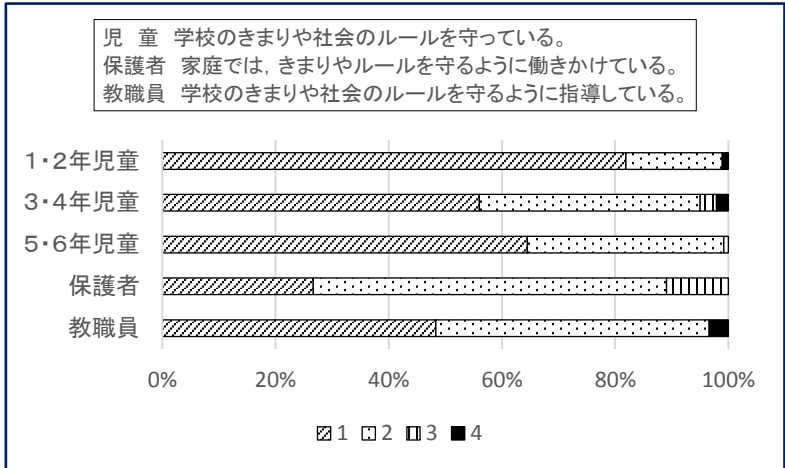
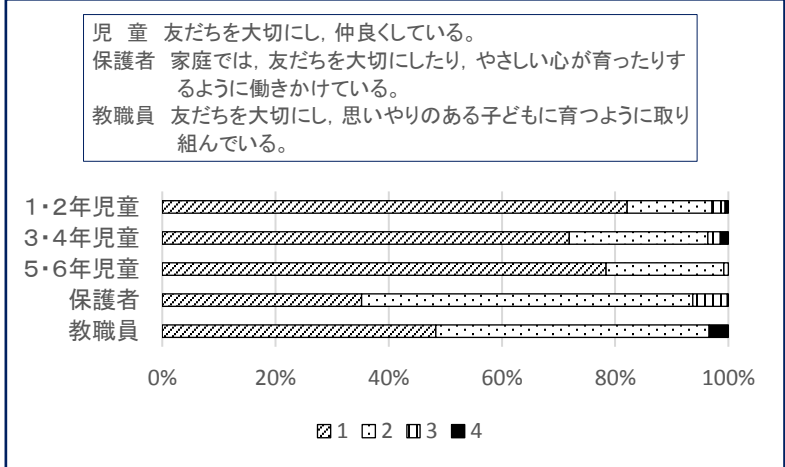


【進んで学習する子について】

『学校の勉強がよくわかる』という項目では、児童は「よく分かる」「大体分かる」で90%以上「分かる」と答えています。学習の理解においては、教職員が授業を研究し、今後も子どもたちに「分かる」授業を目指した授業改善に努めていきます。

『話をしっかりと聞いたり、自分の考えを話したりしている』では、児童・保護者・教職員を比べると意識の違いがみられました。人の「話を聞く」ということは相手を大切にしようとする姿の1つだと思います。学校で話し方や聞き方を学び、また人権学習を通して自己的人権感覚が正しいのか確認していくことで聞く力を高めていきたいです。また、人の話を目で耳で心で聴き、子どもたちが自分の考えを進んで話せるように「褒めて」「認めて」やる気を引き出していきたいと思います。

2. 思いやりのある子



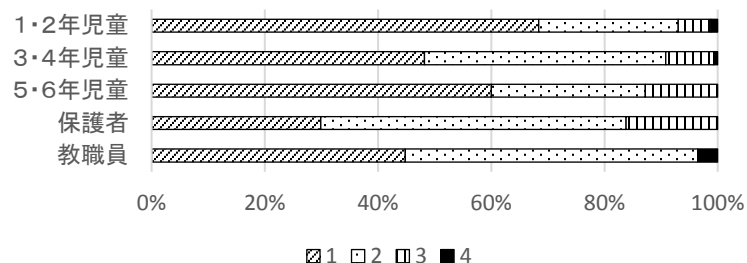
【思いやりのある子について】

『友だちを大切にし、仲良くしている』という項目では、児童・保護者・教職員共に「よく出来ている」「大体出来ている」が90%以上あり、高い水準でした。授業や人権教育の取組の1つである「ともだちの日」の学習を中心に今後も子どもたちが自分の良さに気づき、仲間のよさを見つけられるよう取り組んでいきます。

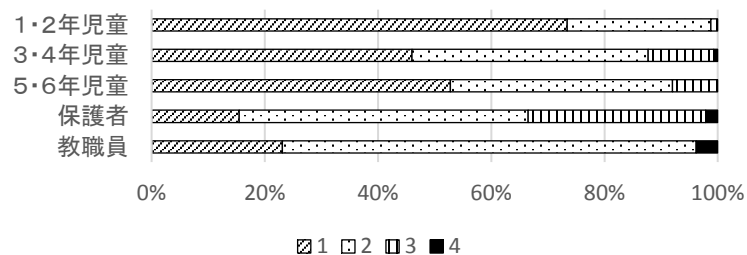
『学校のきまりや社会のルールを守っている』では、児童・教職員は「よく出来ている」「大体出来ている」を合わせて95%以上ありました。保護者も85%～90%肯定的な回答をされていました。子どもたちが、安心・安全な生活を送るためには、きまりやルールを守っていくことも大きなポイントの1つです。ご家庭でも家庭の事情に合った家庭教育で子どもたちの規範意識を高めていただければと思います。

3. 仲間とつながる子

児童 友だちや先生、地域の人に進んであいさつしている。
保護者 家庭では、子どもが進んであいさつするように働きかけている。
教職員 子どもが進んであいさつをするように指導している。



児童 話す相手や話す場面に合った話し方ができる。
保護者 家庭では、話す相手や話す場面に合った話し方ができるように働きかけている。
教職員 話す相手や話す場面に合った話し方ができるように指導している。



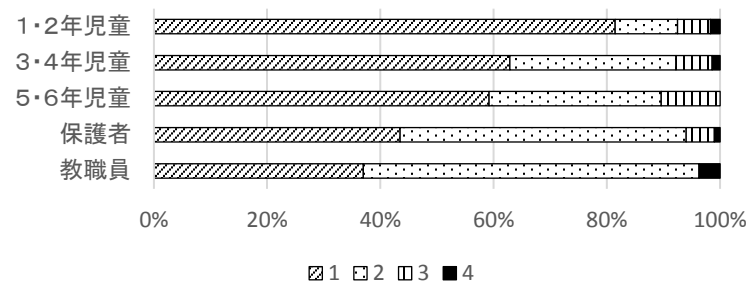
【仲間とつながる子について】

『あいさつしている』という項目では、児童・保護者・教職員の意識にバラつきがあることが分かりました。今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から大きな声でのあいさつ指導は控えておりました。今後も教職員が子どもたちにあいさつする姿を見せていくことで自分から「あいさつできる子」がさらに増えていくように取り組んでいきます。また、最高学年の6年生は、自分からあいさつできる子が多いです。1～5年生の児童は最高学年の姿を見て「6年生かっこいい!」「自分からあいさつしたい」気持ちが高まってくれることを期待しています。

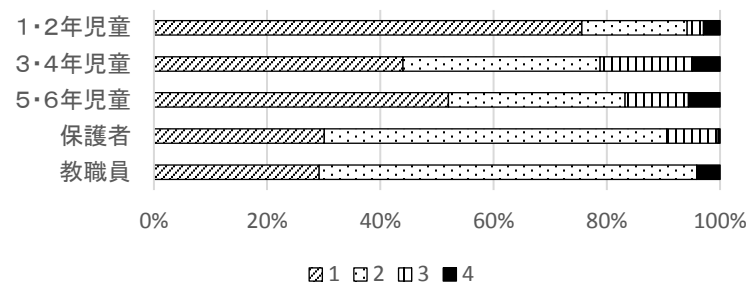
『話す場面に合った話し方ができる』という項目では、児童・保護者・教職員を比べるとそれぞれ差がみられました。学校では、「教職員の姿は子どもの鏡」であることを意識し、「言葉遣い」においても教職員が子どもたちの模範になれるように努めていきます。

4. 心も体も元気な子

児童 学校に楽しくかようことができています。
保護者 家庭では、子どもが楽しく学校に通うことができるように働きかけている。
教職員 子どもが楽しく学校に通うことができるように指導している。



児童 困ったことは、先生や家族に相談している。
保護者 家庭では、子どもの話を聞いたり、話しやすい雰囲気をつくったりするようにしている。
教職員 子どもや保護者の思いを受けとめ、相談にのっている。



【心も体も元気な子について】

『学校に楽しくかようことができています』という項目では、児童は「とても楽しい」「まあまあ楽しい」を合わせて90%以上「楽しい」と感じているようです。どの学年においても高い数字がでているのは、私たち教職員にとって嬉しいことです。

『困ったことは先生や家族に相談している』の項目では、各学年によって児童のおもいに差があるようです。大人も子どもに「今日楽しいことあった?」等良いことに目を向けた問いかけを行ったり、相談しやすく話しやすい雰囲気づくりを心掛けたりして子どもたちと接していきたいものです。

自由記述欄に記述しては、保護者の皆様の記述の中から抜粋しました。

○学校が楽しいかを聞いたところ、「楽しい!めっちゃ楽しい!疲れるけど毎日行きたい!」と話してくれました。いつも先生方が楽しみながら学習に取り組めるようにして下さっているからだと感じます。ありがとうございます。これからもよろしくお願いいたします。

○子供には健やかに深みのある人生を過ごしてほしいと願っていますが、そのためには、どう接することが良いのか悩みます。わが子の長所も短所も、大切にしたいです。○帰宅後は、ご近所の同級生や上級生とよく遊んでいます。男女関係無く遊んでいる様子で、落ち着いた学校生活を送れているんだろうなと思っています。

○いつも子供達を見守って下さり有難うございます。コロナ禍が長びいているので、子供達の生活に影響が出ていることが気になります。出来る限り体験と経験の機会を増やして欲しいなと思っています。

○最近、同じ学校の子供達の様子を見て、親の私も学び、公園遊びの大切さや、そこで会う子供同士の関わり(仲良くする、一緒に遊ぶ、あいさつなど)も大切にしています。同じ学校に通うお友達が、優しく元気な子が多いので、とても良かったと感じています。

○今の子供たちは外で遊びにくく、すぐ大人の冷たい視線(時には)を感じ親としても横のつながり等が昔よりないので子育てもしにくいです。勉強も大事ですが、健康的な身体作りをととても重要としています。100年人生楽に生きられるように幼児期の外遊びは宝ですよね。

○子供の話やら、きちんと聞けてなかったりする事が最近多かったのも、きちんと子供の話を聞いてあげないとダメだなあと思いました。

○ジェンダー・SDGs・性教育(性暴力や性的同意)・防犯などについても学校でも力を入れてほしいし、大人から意識を改めて欲しい。